

空手道 ミニ講座

からて【空手・唐手】

武器を持たず、手足による突き・蹴り・受けの3方法を基本とする拳法。中国から沖縄へ伝来して発達した。空手術。

『広辞苑 第五版』より引用

空手には様々な流派があります。それぞれの流派には独自の理念があり、それに基づいて、考え方や技が組み立てられています。（現在、一般的に柔道と呼ばれているものは、講道館という流派の柔道です。）

伝統派とは、沖縄の伝統的なカラテを基にした空手道です。競技は、組手競技と形競技があります。組手競技は、当てれば反則となる「寸止め空手」といわれているものです。

本連盟（広島県空手道連盟）は、(財)全日本空手道連盟の加盟団体です。(財)全日本空手道連盟は、(財)日本体育協会に加盟しています。また、本連盟は(財)広島県体育協会に加盟しています。

K-1でお馴染みの「極真会館」や「正道会館」等は、伝統派に対して、新興派(いわゆるフルコン系)と呼ばれる流派です。

伝統派と新興派の違いは、「寸止め」か「フルコンタクト」かの違いと言って良いでしょう。伝統派が寸止めで、新興派がフルコンタクトです。これは、練習や試合において、いかに安全性を迫及するかの違いです。

寸止めルールは、頭を含め体全体に攻撃可能です。しかし、下段蹴りは除きます。フルコンルールはそれに対し、頭以外の部分に直接当ててよいというルールです。

「寸止め」とは当たる直前に最大の力を発揮するという意味です。ですから、寸止めだからといって、威力が無いわけではありません。速く攻撃しても力強さが無ければ、試合に勝つ事は出来ないのです。物理的ダメージを与えるのではなく、素早く力強く正確に攻撃するのが、伝統派の特徴です。

「一撃必殺」と言われるように、空手の技は強力なものです。試合の度に、お互いに大き

なダメージを被っている場合は、日頃の練習に支障が出るだけでなく、日常生活にも影響が出てしまいます。そのためルールがあり、礼儀が尊重されるのです。

しかし、必ず寸止めが出来るとは限らないので、「拳サポーター」と「腹当て」と「マウスピース」の3つの防具を着用します。（男は更に「ファールカップ」も）

このように、現在の武道は安全性が重要視されています。ですから、普段の社会生活(私達は、遊びに勉強にバイト)との両立が可能であり、現在、多くの空手ファンがいるのです。



腹当て



拳サポーター